

QIAGEN RNeasy Mini Kit プロトコル

サンプルを破碎

↓

BufferRLT を 450 uL 入れる

↓

56°C 2 min

↓

薄紫色のスピンカラムにアプライし、最高スピードで 2 min

↓

ろ液の上清を別チューブに移す

↓

225 uL エタノール添加しピペッティングで混和

↓

沈殿を含むサンプルをピンクのスピンカラムにアプライし、10,000 rpm 以上で 15 秒遠心。
ろ液を捨てる。

↓

350 uL の BufferRW1 をスピンカラムに加え、10,000 rpm 以上で 15 秒遠心。
ろ液を捨てる。

↓

DNase 処理をしない場合は※を省略(DNase は別売り)

※事前に DNase I 10 uL を 70 uL の BufferRDD に混ぜておく

↓

※DNase mix 80 uL をスピンカラムの膜に直接滴下し、室温で 15 min 放置

↓

350 uL の BufferRW1 をスピンカラムに加え、10,000 rpm 以上で 15 秒遠心。
ろ液を捨てる。

↓

500 uL の BufferRPE を添加し、10,000 rpm 以上で 15 秒遠心。ろ液を捨てる。

↓

500 uL の BufferRPE を添加し、10,000 rpm 以上で 2 min 遠心。ろ液を捨てる。

↓

スピンカラムを別の 2 mL チューブに移し、最高スピードで 1 min 遠心

↓

スピンカラムを別の 1.5 mL チューブに移し、30-50 uL の水を直接スピンカラムの膜に滴下し、10,000 rpm 以上で 1 min 遠心。溶出した液体が RNA。